

# 令和3年度 県土整備部における主要施策の体系

県土未来図  
推進指針の  
基本方針

◎拡充（一部新規を含む）

※ 予算額には、令和2年度2月補正予算（政府補正予算対応分）を含む。

## 当初予算における重点事業など主要項目

暮らしや産業を支える機能的で足腰の強い県土づくり

【1】  
令和2年7月豪  
雨被害への対  
応など災害に  
強い  
強靱な県土づく  
り

1 激甚化・頻発化する  
豪雨災害に対応する  
ためのやまがた強靱化  
の推進

- ・建設災害復旧事業費（うち令和2年7月豪雨関係） 1,488,671千円（令和2年7月豪雨で被災した公共土木施設の復旧）
- ◎河川整備単独事業費（うち河川調査関係） 80,588千円（県管理被災河川の改良復旧に向けた河川整備計画の策定等）
- ・河川整備補助事業費 9,574,400千円（R3:1,531,400千円）（令和2年7月豪雨と同じ雨が降っても流域の浸水被害の解消を図る）
- ・河川流下能力向上緊急対策事業費 763,000千円（河川の堆積土や支障木の除去による流下能力の確保）
- ・水害・内水被害軽減緊急対策事業費 25,591千円（内水被害軽減のための排水樋管の操作環境改善対策等の実施）
- ・地域防災力強化型土砂災害対策事業費 611,899千円（R3:328,399千円）、緊急土砂災害対策事業費 286,200千円（R3:147,600千円）  
（土砂災害から人家集中箇所や避難所等を保全するための施設の整備）
- ・洪水警戒情報提供事業費 199,500千円（R3:105,000千円）、土砂災害警戒避難情報提供事業費 61,000千円  
（河川砂防情報システムや土砂災害警戒システムによる県民への雨量情報や水位情報、土砂災害危険度情報の迅速かつ効果的な提供の実施）
- ・河川管理施設長寿命化対策事業費 348,700千円（R3:250,000千円）（水門、樋門等の河川管理施設の長寿命化計画に基づく点検、補修）
- ・砂防関係施設長寿命化対策事業費 398,400千円（R3:252,100千円）（砂防えん堤等の砂防関係施設の長寿命化計画に基づく点検、補修）
- ・国や市町村等と連携して進める流域全体での治水対策の検討・実施（流域治水対策の推進）

2 災害に強い地域づくり  
の推進

- ・道路改築事業費、交通安全道路事業費、街路整備事業費（うち緊急輸送道路整備、無電柱化実施関係） 7,734,400千円（R3:3,825,948千円）  
（緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の確保のための道路整備、防災機能の強化のための無電柱化の実施）
- ・雪に強いみちづくり事業費 1,351,838千円（緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の雪崩対策等の実施）
- ・災害に強いみちづくり事業費 943,605千円（R3:891,105千円）（緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の落石防止対策等の推進）
- ・降雪状況に関わらず、道路除雪受託業者が最低限の必要経費を確保できる「待機補償制度」の運用等による安定的・確実な除雪の実現

【2】  
活力ある産業  
経済の実現に  
向けた県土づく  
り

1 交通ネットワークの充実  
強化

- ・道路改築事業費 7,527,578千円（R3:3,668,932千円）（県土の基盤となる広域道路・地域内道路ネットワークの整備）
- ・国直轄高速道路等事業費負担金 4,867,795千円（R3:4,308,695千円）、国直轄道路事業費負担金 4,010,342千円（R3:3,724,342千円）  
（国直轄高速道路及び地域高規格道路等の国直轄道路の整備促進（県が事業費の一部を負担））
- ・「道の駅」の整備や機能強化に向けた支援
- ・空港整備事業費 358,249千円（山形空港及び庄内空港における滑走路端安全区域（RESA）の整備に係る用地造成など空港の機能維持・強化のための施設の整備・更新）
- ・酒田港施設整備費【特別会計】 155,199千円（ふ頭の舗装改良や上屋照明灯の更新など港湾の機能維持・強化のための施設の整備・更新）
- ・道路施設長寿命化対策事業費 10,355,708千円（R3:4,675,047千円）（橋梁、舗装、トンネルの長寿命化計画に基づく点検、補修、橋梁の更新、予防保全型維持管理の実施）
- ・空港安全対策事業費（うち空港施設長寿命化対策関係） 3,000千円（山形空港及び庄内空港における滑走路の舗装修繕）
- ・港湾施設長寿命化対策事業費 73,328千円（港湾施設等の長寿命化計画に基づく調査、点検、補修）

2 都市の拠点性と利便性  
の向上

- ・中心市街地再開発事業費 132,585千円（中心市街地の活性化や都市機能の集積等に向けた市街地再開発事業への支援）

3 ポストコロナを見据えた  
インバウンドの推進

- ・空港整備事業費（うち機能強化の検討関係） 808千円（滑走路延長など空港の機能強化の実現に向けた手法の検討の深化）
- ・やまがたの誇れる景観魅力発信事業費 996千円（ホームページのコンテンツの充実等による山形県の景観の魅力の発信の強化）

【3】  
他県からの移住や定住の促進のための  
安全で快適な住み良い山形づくり

- ◎暮らし山形！移住・定住促進事業費 83,414千円（移住・定住につながる世帯に対する住宅リフォーム、中古住宅取得への支援）
- ・交通安全道路事業費 3,260,902千円（R3:2,812,719千円）（事故危険箇所等の解消のための交差点改良や歩道等の整備）
- ・流域下水道事業【公営企業会計】（うち流域下水道整備関係） 2,469,256千円（R3:1,941,056千円）（快適な生活環境の確保のための汚水溢水防止対策を含む流域下水道処理場及び管渠の整備）
- ・都市公園活用推進事業費 665,377千円（R3:539,377千円）（都市公園の魅力向上に向けた計画的な設備更新及び利用者のための環境整備）

【4】  
県土づくりを  
支える産業の  
振興

1 建設・住宅産業等の振興

- ◎河川維持修繕費（うち地域密着型・河川維持管理モデル事業関係） 20,000千円（県内小規模建設事業者の経営改善と河川の維持管理の効率化に向けたモデル事業の実施）
- ・やまがたの家需要創出事業費 482,212千円（住宅リフォーム等の需要喚起による住宅産業の振興、県産木材を使用した新築住宅取得への支援）
- ・建設業人材確保・育成緊急対策事業費 746千円、やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費 8,579千円（建設技能労働者や大工等の育成・確保に向けた支援）

2 建設産業の新3K（給料、  
休暇、希望）の実現に向  
けた取組み  
～働く人を幸せにする  
デジタル化の推進～

- ・ASP（Application Service Provider：インターネット上に置かれたデータの共有手段）を活用したモデル工事を実施して、建設産業全体の業務の効率化を図ることなどにより、将来的な建設産業の新3Kの実現を目指す。